

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 未来に残そう九州産材の伝統美

グループの名称 100年の木の家づくりの会

直近採択グループ番号 04-0715-0682

(グループ代表者)

代表者名 永島 勝次 代表者印

代表者所属先 株式会社永島建設

代表者所在地 福岡県宗像市徳重175-2

代表者電話番号 0940-33-3861

(グループ事務局)

事務局事業者名 株式会社ブルケン・ウエスト キタモク営業部 宗像営業所

事務局担当者名 川上 秀幸 印

事務局郵便番号 811-4164

事務局所在地 福岡県宗像市徳重546-1

事務局電話番号 0940-39-2600

事務局FAX 0940-39-2662

事務局担当者E-mail kitamoku-munakata@onyx.ocn.ne.jp

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		5	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		5	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	5	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸					
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		5	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		5	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	5	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸					
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		1	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		2	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	2	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		1	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		2	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸						
	申請が未確定(上限150万円)		1	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸						
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		1	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸						
	申請が未確定(上限165万円)		1	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸						
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	棟	/						
			m ²							
		申請が未確定	棟							
			m ²							
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	構成員に各1棟を配分する予定ですが、配分数により、受注が確実な工務店を優先し先着順とする。									
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
	当初予算	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3	戸
	補正予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	当初予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
	当初予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
優良建築物型										
当初予算	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
当初予算	採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 未来に残そう九州産材の伝統美	(地域型住宅供給対象地域) 福岡県・佐賀県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 100年の木の家づくりの会	(結成年) 2015年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0715-0682	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・台風・地震に強い家、高温多湿の夏涼しく冬暖かな家、黄砂の影響を軽減する家。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	木造在来工法による耐震・耐風・調湿性に優れ、日射環境に適応した家づくり。健康に良い呼吸する家。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	地場の地域景観と気候風土に順応したデザイン。無垢木材と調湿性能の高い内装仕上げ材を使用。	○
④①～③の背景	九州は台風の通過や接近が多く、暴風による被害が多い。梅雨の雨量が多く、今年は朝倉市周辺が甚大な被害を受けた。夏季は夏日が200日前後続き高温多湿の期間が非常に長く暑い。熊本・大分地震も発生し多くの建物が被害を受けた。春はPM2.5や黄砂の飛来があり、洗濯物を干せない日もある。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 土台・柱・桁は105角以上を使用。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 省エネルギー対策等級4使用とする。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 事務局の提案の下、各メーカーと提携し実施する。	○
②-1 建材・資材調達の商品化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 事務局による建材・資材の流通をまとめて適正価格にて納材。	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 事務局と提携し実施する。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 資材・工法などの共通できる様に、事務局より定期的に検討・講習会を開催する。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 最新情報の発信など。	○
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 長期優良住宅の基準を満たす。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 第三者機関による住宅保証検査を受ける。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 見積もりの項目を統一し、自然素材や省エネ効果の高い建材・設備機器を取り入れる。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 1・3・5・10年点検を実施する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 未来に残そう九州県産材の伝統美	(地域型住宅供給対象地域) 福岡県・佐賀県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 100年の木の家づくりの会	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0715-0682	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	第三者機関である『快適住実の家』住宅履歴情報管理サービスを利用する。	
①	住宅履歴情報の蓄積	◎
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関である『快適住実の家』住宅履歴情報管理サービスのメンテナンス体制を構築。	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 『快適住実の家』による「住宅履歴の図書館」をweb上で閲覧・追加・管理。	◎
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 『快適住実の家』による「住宅履歴の図書館」を利用し構成員の顧客管理をサポート。	○
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 引き渡し後1・3・5・10年点検の実施。	○
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期点検・長期維持管理を実施。	○
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局管理の下、構成員で定期的に会合を行う。	○
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関による国の住宅政策・補助金事業などのセミナーを実施。	○
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 職人さん方と協力しエンドユーザーに向けた木工教室などを開催。	○
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局主催による第三者機関を利用した相談会・講習会を実施。	○
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局にて設置。	○
⑤	その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 『快適住実の家』の支援サービスを利用する。	○
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が相談窓口になりグループ内にて対応。	○
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関による講習会を実施。	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 会員の知識や技術力向上のためのワークショップや連絡会などの随時開催と情報の共有化。	◎
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局担当者・経験済み構成員による現場視察を実施。	○
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局と構成員による会合を実施。	○
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局による市場価格の情報発信を行い、相場変動を考慮した見積もり・積算を行う。	○
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 技術研修・システム・工事管理・工法などの勉強会を企画し実施する。	○
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 研修運営・資料整備・	○
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 8 今年度の参加目標人数 8	○
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 0 今年度の参加目標人数 2	○
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局から講習会の案内を定期的に行う。	○
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 行政・関連団体の講習会等に積極的に参加。	○
②	新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 未来に残そう九州産材の伝統美	(地域型住宅供給対象地域) 福岡県・佐賀県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 100年の木の家づくりの会	(結成年) 2015年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0715-0682	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須) ② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須) ③ 標準的な地域材の使用部位(必須) ④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	◎
主要構造材に九州産材を使用する。		◎
<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上 土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している		
原木供給業者→製材→プレカット→流通→工務店		
地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明		
b	①-1 地域材在庫把握の仕組 ①-2 地域材価格の共有の仕組 ② グループ全体における地域材の需給予測	○
①-1 ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内の原木・製材業者より現況報告を受け事務局より定期的に発信。		○
①-2 ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局で月2回行われる市日の競り売りや、市の広告による価格情報の発信。		◎
② 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 16社×15㎡×50%と予測		○
c	①-1 量の活用 ①-2 和瓦の活用 ①-3 襖の活用 ①-4 障子の活用 ②-1 その他地域の伝統的な素材の活用 ②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	○
①-1 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 90枚		○
①-2 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数: 200坪		○
①-3 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 50枚		○
①-4 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 20枚		○
②-1 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 要望に応じて適材を活用する。		○
②-2 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 要望に応じて適材を活用する。		○
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組 ② 地域の住まい方の継承につながる取組 ③ 地域の街並み形成へ寄与する取組 ④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	○
① 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域の地域景観と気候風土に順応したデザインを若い世代に伝える為のセミナー等の開催。		○
② 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域のコミュニケーションが取れるようなデザイン・外構を推奨する。		○
③ 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域の地域景観と気候風土に順応したデザイン		○
④ 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 内外装に一部無垢材を使用し和を取り入れる。		○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		○
外構までの提案		
カ. その他		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	復興に寄与する商品を取り入れる。	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組	事務局が中心となり復興状況や情報を熊本の製材業者から直接情報を入手しグループ内に発信し構成員で資材・技術協力など支援できる事を提案する。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 未来に残そう九州県産材の伝統美	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 福岡県・佐賀県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> 100年の木の家づくりの会	<small>(結成年)</small> 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	04-0715-0682	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

断熱性能を向上して、エネルギーロスを最小限とする住宅を建てる。消費電力量を減らす為に、HEMSや省エネ性能の高い機器・照明等を仕様する。太陽光発電・蓄電池を提案。